

事務事業評価シート

H26(標準事業)

① 基本事項	事業コード	事業名	部名	教育委員会事務局
	19218-1	学力・体力向上支援事業	室名	教育研究室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	財	会計 一般会計
	基本施策	01:子どもたちの学びと健全育成	務	款 教育費
	施策の方向	03:学力・体力の向上と豊かな心を育む教育の推進	科	項 教育研究費
戦略プロジェクト		目	目 教育研究費	

② 目的・概要	対象	市内小中学校
	目的	学校において直面する教育課題を解決し、児童生徒の学力の向上を図るため、担当者研修会や学力向上に向けた三本柱(学習規律・授業改善・学習習慣)を中心とした取組を行う。また、児童・生徒の学習に向かう力を育てるために、体力向上に係る外部講師を、小学校に派遣し、児童への直接指導にあたり、指導方法の研修に役立てたりして、継続的な体力向上に取り組む。

			24年度	25年度	26年度		
③ 指標	活動	① 名称	学力向上研修会、外部講師派遣	計画値			
		補足	学力向上研修会:3回、 学力及び体力向上外部講師派遣:73回 亀山市学力向上推進計画説明会:1回	実績値	91	122	77
		単位		回	回	回	
	成果	② 名称		計画値			
		補足		実績値			
		単位					
① 補足	名称	亀山市レディネステスト(学力テスト)の結果	計画値				
	補足	全国平均正答率を100としたときの割合(全体) 国語:小94.4、中90.1 算数・数学:小97.3、中92.6	実績値	94	95.6	94.2	
	単位		%	%	%		

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績					<ul style="list-style-type: none"> ・亀山市レディネステスト(学力テスト)実施と分析 ・学力向上担当者研修会の実施(3回) ・みえスタディチェックの活用(小学校2年～中学校3年) ・学力及び体力向上の外部講師の派遣 ・亀山市学力向上推進計画説明会の実施 ・土曜学習に係る先進地域への視察研修 ・むし歯予防親子体験学習、合唱指導等の実施 			
			計画額	予算額	決算額	総人件費 ①		148
	事業費			5,333	5,129	一般職員人件費 ②	148	平均給与額×③
	国庫支出金					所要人員 ③	0.02	
	県支出金			960	960	臨時職員人件費 ④		
	地方債					受益者負担額 ⑤		
	その他					受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
	一般財源			4,373	4,169			
	再掲	翌年度への繰越額						
		前年度からの繰越額						
総人件費			①	148				
総コスト			⑥	5,277				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	市独自の学力調査を実施したことで、小中間での継続した実態を把握し、課題にあった取組を進めることができた。また、分析結果から児童生徒の課題を明らかにし、授業改善や生活・学習習慣の見直しなどの取組を行った。学力向上研修会では、市や県教委の指導主事、大学教授が講師となり、市の課題への今後の取組について助言することで、各学校での次年度の計画に活かすことができた。また、亀山市学力向上推進計画説明会を実施し、内容の周知を図るとともに市内小中学校での運用に向けて共通理解を行った。外部講師を各小学校に派遣することで、子どもの体力向上に向けた取組を行うとともに、教員にとっても、各種体育的活動の効果的な指導方法を学ぶ機会となった。	総合判定	A 順調に進んだ
	【反省点・課題】	第1回学力向上研修会において、校内研修の進め方について情報交換や討議を行ったことで、各学校の校内研修のあり方に変化と工夫が見られたが、1時間の授業の構成の仕方(見通しと振り返り、山場づくり)など、授業改善に関しての各校共通の課題も明らかになった。学力向上推進計画説明会を行ったが、運用自体はこれからなので、今後もスムーズな運用ができるように取組を進める必要がある。		
	【改善の方向性】	学力向上推進計画に基づいて、学力向上に向けた三本柱の取組(授業改善・学習習慣・学習規律)の中で、特に「授業改善」を中心とした取組を行い、児童生徒の思考・判断・活用力の向上をめざしていく。そのために、学力向上研修会の開催など効果的な支援を継続していく。		
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 教育研究室長 伊達 弘	